

文化スポーツ観光部

その他事業

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	1	説明資料	15	項目番号	2(1)																
事務事業名	企画課一般事務費										所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし		事業終了の見込		未定																					
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																													
根拠法令																														
事業目的	企画課及び部全体における事務を円滑に進める										分野別計画																			
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					1,397	846	519	839	千円																					
b 人件費					10,991	16,018	17,266	17,263	千円																					
正規職員					1.2	1.8	1.9	1.9	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					874	905	981	1,145	千円																					
総経費（a + b）					12,388	16,864	17,785	18,102	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>1,397</td><td>10,991</td><td>12,388</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>846</td><td>16,018</td><td>16,864</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>519</td><td>17,266</td><td>17,785</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	1,397	10,991	12,388	令和5年度決算	846	16,018	16,864	令和6年度決算	519	17,266	17,785
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	1,397	10,991	12,388																											
令和5年度決算	846	16,018	16,864																											
令和6年度決算	519	17,266	17,785																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	特になし																													
今後の事業の方向性	社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。																													

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	20	項目番号	2(1)
事務事業名	文化行政推進事業										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												文化振興課		

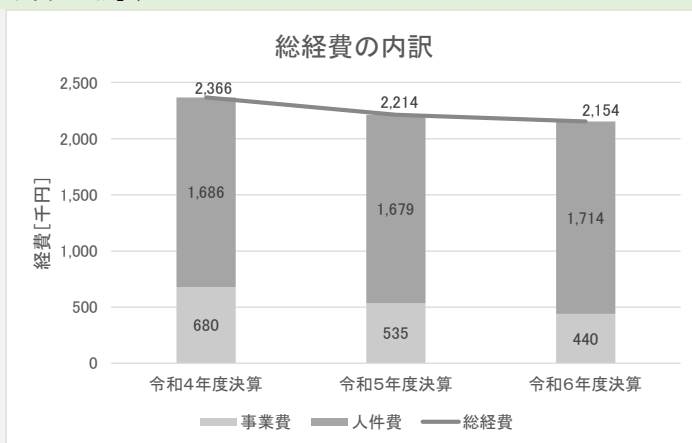
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	文化行政の総合的な企画、調整及び推進を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	・文化振興の基本的事項に関し、市長の諮問に応ずるため、横須賀市文化振興条例第13条に基づき、附属機関として横須賀市文化振興審議会を設置し、その運営を行う(委員数10人以内。委嘱や市民公募委員の選定も含む)。 ・4年に1回、文化振興基本計画の改訂、毎年文化振興基本計画の進捗管理を行う。 ・文化行政専門委員の委嘱(文化行政の推進にあたり、専門的な立場からの指導・助言を得るため、文化行政専門委員を委嘱する)を行う。 ・團伊玖磨氏から寄贈された楽譜等の管理を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	680	535	440	610	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	2,366	2,214	2,154	2,307	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・文化振興審議会の実施(3回) 次期文化振興基本計画の策定を行った。	・文化振興審議会の実施(1回)	・文化振興審議会の実施(1回)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R4→R5】次期計画（計画期間：R5年度～R11年度）の審議がR4年度に終了したため、審議会の開催数減（3回→1回） 【R5→R6】消耗品費の減額（90千円→27千円）及び旅費支出減に伴う、事業費の減
今後の事業 の方向性	新しく策定した次期文化振興基本計画をもとに、文化振興審議会や文化行政専門委員からの助言を活用して、他部局と調整して横須賀の文化振興行政を運営していく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	20	項目番号	2(2)
事務事業名	市民文化資産等保存振興事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

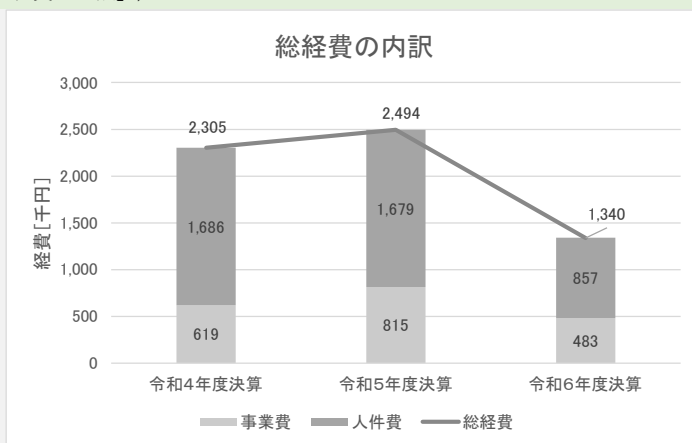
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市文化振興条例第12条「市民文化資産の指定等」の規定に基づき、本市の文化振興に資する市民文化資産の保存・活用を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	市民文化資産の保存・活用を行うため、以下の事業を実施している。 ・市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金の支給。(有形文化資産・建造物:60,000円、有形文化資産・建造物以外:20,000円) ・市民文化資産の修理に対する補助金の交付。(修理に要する費用のうち、10万円を超えた部分の2分の1以内の額で300万円を限度) ・新たな市民文化資産指定のため、指定候補の選定作業を調査員に依頼。 ・市民文化資産の説明板の修理等(必要に応じて張り替え、修理等を実施) ・指定件数24件(建造物8件、建造物以外16件:令和7年3月末現在)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	619	815	483	988	千円
b 人件費	1,686	1,679	857	848	千円
正規職員	0.2	0.2	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	2,305	2,494	1,340	1,836	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000円 (イ)建造物以外 240,000円 ②案内板の修繕・設置 128,700円	①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000円 (イ)建造物以外 240,000円 ②案内板の修繕・設置 128,700円 ③市民文化資産(永島家の長屋門)の修繕 197,000円	市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000円 (イ)建造物以外 240,000円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R4→R5】R5年度はR4年度と同様に案内板の修繕を1基行ったほか、臨時的な修繕（屋根瓦の補修）に対する補助金支出があったため、支出増 【R5→R6】R6年度は案内看板の修繕や臨時的な修繕に対する補助金支出がなかったため、支出減
今後の事業の方向性	今後も地域の文化的遺産の保存・活用を図るため、継続して事業を実施する必要がある

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	21	項目番号	2(3)
事務事業名	明日の文化活動担い手育成事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

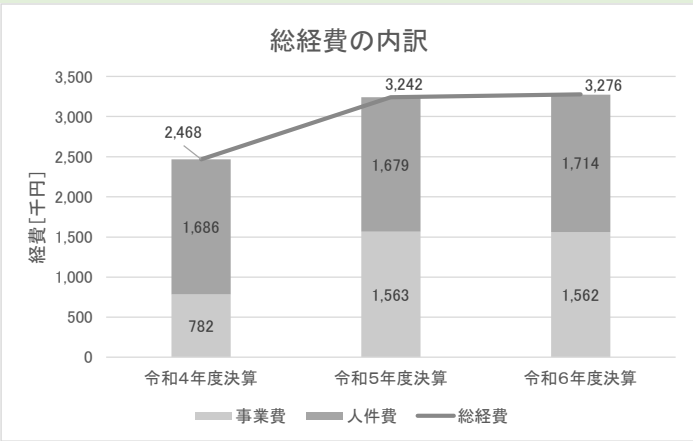
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	将来の文化活動の担い手となる子どもたちの文化への関心を高めるため、子どもを対象として、文化活動に触れる機会や歴史を知る機会を提供する					分野別計画	
具体的な事業内容	・伝統芸能ワークショップの開催 ・子ども向け歴史小冊子等の発行 ・出前授業の開催						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	782	1,563	1,562	2,726	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a ＋ b）	2,468	3,242	3,276	4,423	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
①伝統芸能ワークショップの開催 ②子ども向け小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ③子ども向け小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷 ④リーフレット「近代日本のルーツ横須賀製鉄所」の増刷 ⑤出前授業の実施		①伝統芸能ワークショップの開催 ②小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ③小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷 ④小冊子「ペリーと横須賀」の増刷 ⑤小冊子「三浦一族の歴史」の増刷 ⑥出前授業の実施	①伝統芸能ワークショップの開催 ②小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ③小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷 ④小冊子「三浦一族の歴史」の増刷 ⑤出前授業の実施
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R4→R5】小冊子「ペリーと横須賀」の在庫減による増刷、および小冊子「三浦一族の歴史」を地域文化振興事業から本事業への移管による増刷【R5→R6】出前授業件数が増えたため、講師への謝礼としての報償費は増加したが、冊子の増刷などが前年に比べ少なかったため、ほぼ増減なし		
今後の事業の方向性	将来の文化の担い手の育成のため、引き続き取り組みを続けていきたい。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	21	項目番号	2(4)
事務事業名	近代歴史遺産活用事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

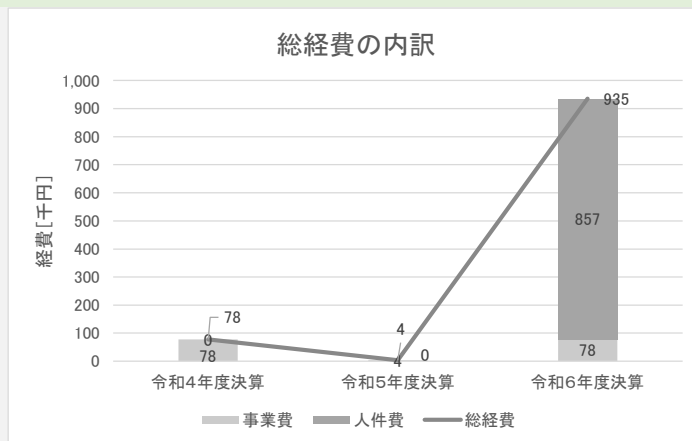
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市に多く点在する近代歴史遺産を次世代へその歴史を伝えていくことを目指す。					分野別計画	
具体的な事業内容	近代歴史遺産をはじめとする本市の歴史の周知と次世代への継承を目的として、出前授業や歴史小冊子の作成や近代歴史遺産活用事業推進協議会の運営を行う(委員数15人以内、委嘱や選定も含む)。 令和4年度、協議会は書面会議を1回開催した。 令和3年度にルートミュージアム推進事業が始まってからはほぼ事業を移管し、この事業では協議会の運営のみとなっている。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	78	4	78	90	千円
b 人件費	0	0	857	848	千円
正規職員	0.0	0.0	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	78	4	935	938	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回:書面開催)	なし	①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回:書面開催)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R4→R5】年度末に協議会開催を検討していたが、協議会で取り扱うべき案件等がなかったことにより、協議会会長とも相談した結果、開催を見送った。 【R5→R6】2年間の任期満了に伴い、R6に新たに協議会の委員を委嘱し、協議会を開催した。
今後の事業 の方向性	協議会については、ティボディエ邸開館をはじめ、ルートミュージアム構想が本格稼働したことにより、当面の目的を達成したと思われる。今後は、必要に応じて開催する予定。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	24	項目番号	3(1)
事務事業名	地域文化振興事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

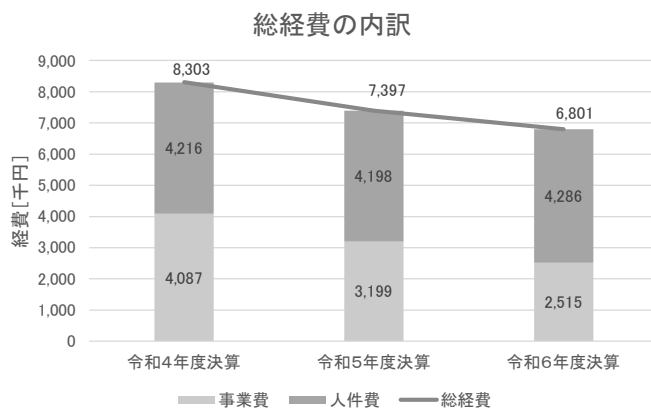
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市の歴史的・地域資源である、「三浦一族の歴史」や「開国期を中心とした歴史」を広く普及させるため、三浦一族・開国史研究会に事業を委託し、歴史の掘り起こしを通じて市民文化の振興と市民の郷土愛の向上を図る。さらに、本市とゆかりのある友好都市との文化交流を支援し、地域間のつながりを深める。					分野別計画	
具体的な事業内容	三浦一族研究会・開国史研究会 ・総会、講演会、各種講座、史跡めぐり等の実施 ・機関誌（年1回）、会報誌の作成・発行 ・その他「三浦一族の歴史」や「開国期」の普及に関すること 友好都市・会津若松市への文化交流訪問支援 ・横須賀民謡普及会が会津若松市で開催される「会津まつり・会津磐梯山踊り」に参加し、文化交流を行う。職員が随行する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,087	3,199	2,515	2,553	千円
b 人件費	4,216	4,198	4,286	4,242	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	8,303	7,397	6,801	6,795	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者585名 (2)講座(29回) 参加者220名 (3)機関誌の発行(550部) 研究会会員数372名 開国史研究会 (1)講演会開催(2回) 参加者290名 (2)講座の回数(8回) 参加者214名 (3)研究誌の発行(700部) 研究会会員数277名 「三浦一族の歴史」小冊子製作 (1)発行 15,600部 会津まつりへの随行 (1)交流予定だった民謡団体が、新型コロナウイルス感染防止対策のため、交流をキャンセルしたため中止となった。	三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者300名 (2)講座(29回) 参加者268名 (3)機関誌の発行(620部) 研究会会員数394名 開国史研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者245名 (2)講座(9回) 参加者154名 (3)機関誌の発行(500部) 研究会会員249名 会津まつりへの随行 (1)参加者「横須賀民謡普及会」29名・市職員2名	三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者422名 (2)講座(21回) 参加者233名 (3)機関誌の発行(620部) 研究会会員数302名 開国史研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者317名 (2)講座(15回) 参加者125名 (3)機関誌の発行(500部) 研究会会員数228名

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R4→R5】事業見直しによる三浦一族・開国史研究会への委託料の削減、および「三浦一族の歴史」小冊子増刷が「明日の文化担い手事業」へ移管したことにより事業費が減少した。 【R5→R6】事業見直しによる三浦一族研究会への委託料の削減による減。
今後の事業 の方向性	三浦一族・開国史研究会へ委託している史実の普及事業は、事業見直しにより、委託金を段階的に減らしている。 また、「会津文化交流訪問」に関しても、事業見直しにより、令和5年度をもって終了した。（本来は、令和4年度で終了の予定だったが、参加予定団体の意向により参加を見送ったため、令和5年度へ延期）

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	24	項目番号	3(2)
事務事業名	市民文化活動推進事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

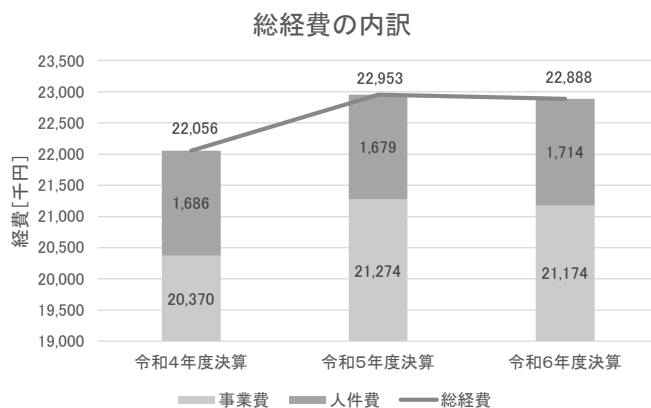
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市民に日頃の文化活動の成果の発表の機会および芸術文化鑑賞の機会を提供するなど、市民ニーズに適した各種の文化事業を実施し、市民の文化活動を支援する。					分野別計画	
具体的な事業内容	効率的な運営を図るため、事業を(公財)横須賀市生涯学習財団に委託する。事業内容等は以下のとおり。 ・市民文化祭の開催(春と秋に開催) ・組曲「横須賀」演奏会(年1回) ・市民音楽のつどい(年1回) ・市民合唱のつどい(年1回) ・カジュアルコンサート(年1回) ・ファミリーコンサート(年1回)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	20,370	21,274	21,174	21,247	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	22,056	22,953	22,888	22,944	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
(ア)市民文化祭 18行事(春季:1、秋季:17) 入場者:11,035人 参加者:3,502人 (イ)第37回組曲「横須賀」演奏会 4月30日 入場者:550人 参加者:206人 (ウ)第45回市民音楽のつどい 6月12日 入場者:526人 出演者:194人 (エ)第46回市民合唱のつどい 11月4日5日 入場者:1,227人 出演者:900人 (オ)カジュアルコンサート 令和5年1月22日 入場者:978人 出演者:100人 (カ)ファミリーコンサート 令和5年3月18日 入場者:1,093人 出演者:100人	(ア)市民文化祭 21行事(春季:2、秋季:19) 入場者:8,690人 参加者:3,675人 (イ)第38回組曲「横須賀」演奏会 5月3日 入場者:703人 参加者:231人 (ウ)第46回市民音楽のつどい 6月11日 入場者:635人 出演者:245人 (エ)第47回市民合唱のつどい 11月4日5日 入場者:1,361人 出演者:876人 (オ)カジュアルコンサート 令和6年1月21日 入場者:1,063人 出演者:100人 (カ)ファミリーコンサート 令和6年3月17日 入場者:1,094人 出演者:100人	(ア)市民文化祭 21行事(春季:2、秋季:18) 入場者:9,945人 参加者:3,913人 (イ)第39回組曲「横須賀」演奏会 4月14日 入場者:1,057人 参加者:292人 (ウ)第47回市民音楽のつどい 6月9日 入場者:625人 出演者:302人 (エ)第48回市民合唱のつどい 11月2日3日 入場者:1,275人 出演者:897人 (オ)カジュアルコンサート 令和7年1月19日 入場者:811人 出演者:100人 (カ)ファミリーコンサート 令和7年3月9日 入場者:866人 出演者:100人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R4→R5】全事業を実施したため執行額は増えている。 【R5→R6】生涯学習財団への委託料は変更なし。広報揭示板ポスターの掲載回数が6回から4回に減ったことによる印刷製本費減。
今後の事業 の方向性	市民の文化活動を推進するため、継続していく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	25	項目番号	3(3)
事務事業名	文化団体支援事業										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												文化振興課		

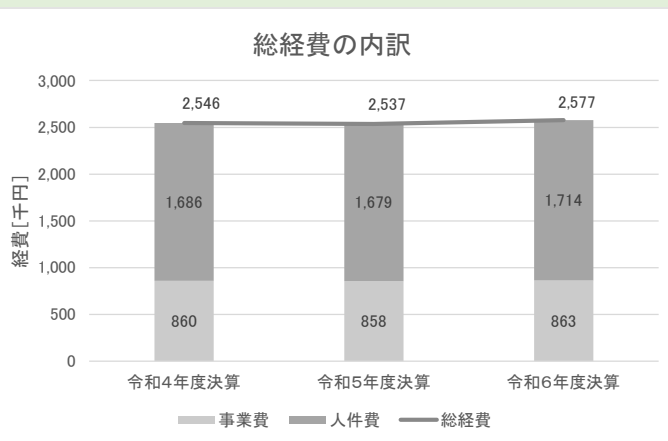
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内の文化団体の活動に対し、支援・補助を行うことにより、本市の文化活動の活性化を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	・文化団体が主催する事業に対して、市の共催・後援名義の使用を承諾し、文化団体の活動を支援する。 ・共催・後援名義の使用を承諾した事業のうち、公募作品展などに対して、市長賞として賞状および楯等の賞品を交付する。 ・市内の各種文化団体を統括する横須賀文化協会に補助金を交付することで、横須賀文化協会の活動を促進する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	860	858	863	869	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,546	2,537	2,577	2,566	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・共催及び後援名義承諾件数 71件(共催:6件、後援:65件) ・市長賞交付件数 賞状8件(内、楯:2件、トロフィー:1件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)		・共催及び後援名義承諾件数 72件(共催:3件、後援:69件) ・市長賞交付件数 賞状8件(内、楯:2件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)	・共催及び後援名義承諾件数 64件(共催:2件、後援:62件) ・市長賞交付件数 賞状11件(内、楯:4件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R4→R5】文化団体活動補助金(文化協会)は、前年度同様、上限額(84万円)を支給した。市長賞副賞の交付件数はやや減っているが、総経費はほぼ増減なし。 【R5→R6】文化団体活動補助金(文化協会)は、前年度同様、上限額(84万円)を支給した。市長賞副賞の交付件数はやや増加し、楯の支出も2件分増加した。(楯5,720円/件)		
今後の事業 の方向性	市民の文化団体の活動を支援するため、継続する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	4(1)
事務事業名	歴史文化基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

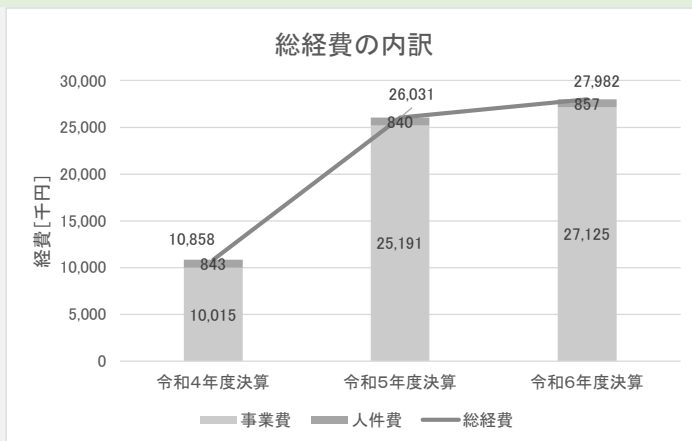
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を歴史文化基金に積み立て、文化の継承に資する事業の振興を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を、歴史文化基金へ積み立てる。 歴史文化基金は、市民文化資産保存振興事業のほか、明日の文化活動担い手育成事業、文化財に関する事業などへ活用することにより、文化の継承に資する事業の振興を図るための財源となっている。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	10,015	25,191	27,125	27,125	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	10,858	26,031	27,982	27,973	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・歴史文化基金利子収入 438円 ・ふるさと納税 171件 10,015,000円 合計 10,015,438円	・歴史文化基金利子収入 4,719円 ・ふるさと納税 25,102,500円 ・指定寄附分の積立(文化財保護整備事業)84,128円 合計 25,191,347円	・歴史文化基金利子収入 34,746円 ・ふるさと納税 26,980,361円 ・指定寄附分の積立(文化財保護整備事業)109,679円 合計 27,124,786円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	【R4→R5】ふるさと納税の寄附額の収入増に伴い、積立金も増加している。 【R5→R6】積立金の残高が増えたため利子収入が増。また、ふるさと納税や指定寄附の金額も増加している。
今後の事業 の方向性	地元の歴史文化の継承に資するための基金として、引き続き取り組んでいきたい。

令和 7 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	5(1)																
事務事業名		文化振興課一般事務									所管部課名		文化スポーツ観光部																	
													文化振興課																	
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	文化振興課における事務を円滑に進める									分野別計画																				
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 6 年度予算		単位																	
a 事業費（予算現額・支出済額）					181		114		48		55		千円																	
b 人件費					3,485		3,520		3,588		3,736		千円																	
正規職員					0.3		0.3		0.3		0.3		人																	
再任用職員（短時間を含む）					0.0		0.0		0.0		0.0		人																	
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					956		1,001		1,017		1,191		千円																	
総経費（a + b）					3,666		3,634		3,636		3,791		千円																	
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>181</td><td>3,485</td><td>3,666</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>114</td><td>3,520</td><td>3,634</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>48</td><td>3,588</td><td>3,636</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	181	3,485	3,666	令和5年度決算	114	3,520	3,634	令和6年度決算	48	3,588	3,636
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	181	3,485	3,666																											
令和5年度決算	114	3,520	3,634																											
令和6年度決算	48	3,588	3,636																											
令和 4 年度の活動実績					令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）		【R5→R6】消耗品費の減額(132千円→40千円)に伴う消耗品の見直しや、総務課が各所に設置した新規の複合機(カラープリンター)により、課所有のカラープリンターにかかる費用が不要になったことによる、事業費の減。																												
今後の事業 の方向性		社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。																												

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	27	項目番号	1(1)
事務事業名	芸術劇場管理事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

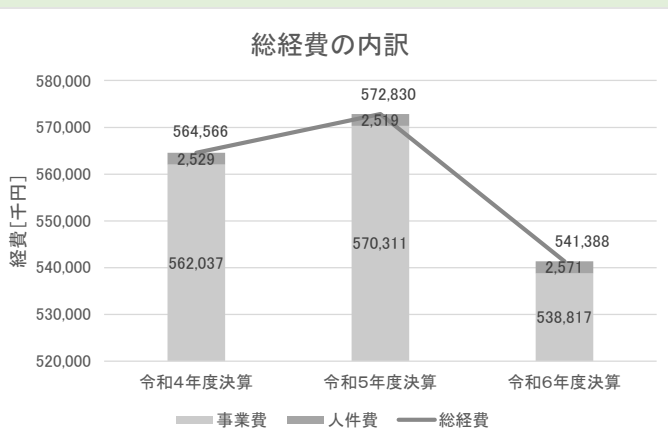
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財産構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。また、複合施設である「ベイスクエアよこすか一番館」に属して、施設の共有部分の管理においても重要な位置を占めている。					分野別計画	
具体的な事業内容	芸術劇場は、公共性、文化性が高い事業を施設管理と一体となって実施し、利用料金収入と指定管理料を財源に舞台音楽芸術普及事業、育成事業、各種サービス事業を展開している。平成18年度から指定管理者制度が導入され、指定管理者による管理運営となった。直近では令和4年に公募による指定管理者選定を実施し、公益財団法人横須賀芸術文化財団が選ばれ、現在も運営している。また、複合施設であるベイスクエアよこすか一番館に属するため、施設の共有部分の管理にかかる経費を所有割合に応じて市が負担している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分		令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a	事業費（予算現額・支出済額）	562,037	570,311	538,817	551,590	千円
b	人件費	2,529	2,519	2,571	2,545	千円
	正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
	再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）		564,566	572,830	541,388	554,135	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金144,017,836円） ・舞台用備品の購入（備品購入費4,177,140円） ・その他事務（11,623,782円）		・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金143,338,129円） ・舞台用備品の購入（備品購入費2,190,320円） ・その他事務（995,750円） ・指定管理施設光熱費等補助金（R4年度分）（負担金、補助及び交付金14,659,027円）※令和4年度からの明許繰越分 ・指定管理施設光熱費等補助金（R5年度分）（負担金、補助及び交付金6,909,219円）※残りは令和6年度へ明許繰越。	・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料371,548,000円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金150,089,296円） ・舞台用備品の購入（備品購入費375,485円） ・その他事務（5,182,240円） ・指定管理施設光熱費等補助金（R5年度分）（負担金、補助及び交付金2,181,332円）※令和5年度からの明許繰越分 ・指定管理施設光熱費等補助金（R6年度分）（負担金、補助及び交付金9,440,818円）※残りは令和7年度へ明許繰越。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R4→R5】 ・その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。（9,021,594円→379,100円） ・指定管理施設光熱費等補助金を支出した（R4繰越分14,659,027円、R5現年度分6,909,219円） 【R5→R6】 ・新しい指定管理期間の開始に伴い指定管理料が減少した。（402,218,355円→371,548,000円） ・ベイスクエアよこすか一番館管理負担金が光熱水費の影響により増額した。（143,338,129円→150,089,296円） ・その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填が終了したが、施設管理にかかる緊急修繕を2件実施した。（2件5,170,000円） ・指定管理施設光熱費等補助金は、R5年度（R4繰越はR4.4～3月、R5現年はR5.4～12月）とR6年度（R5繰越はR6.1～3月、R6現年はR6.4～12月）で支払い対象期間が異なったため、減少した。		
今後の事業 の方向性	令和6年度より新しい指定管理期間になったため、新たな運営計画の下、新たな芸術劇場としての運営を展開できるよう指定管理者と連携する。 また、同じく令和6年度から始まった特定天井改修工事を適切に進行管理し、来たるリニューアルオープンに向け指定管理者と連携する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	28	項目番号	1(2)
事務事業名	文化会館等管理事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

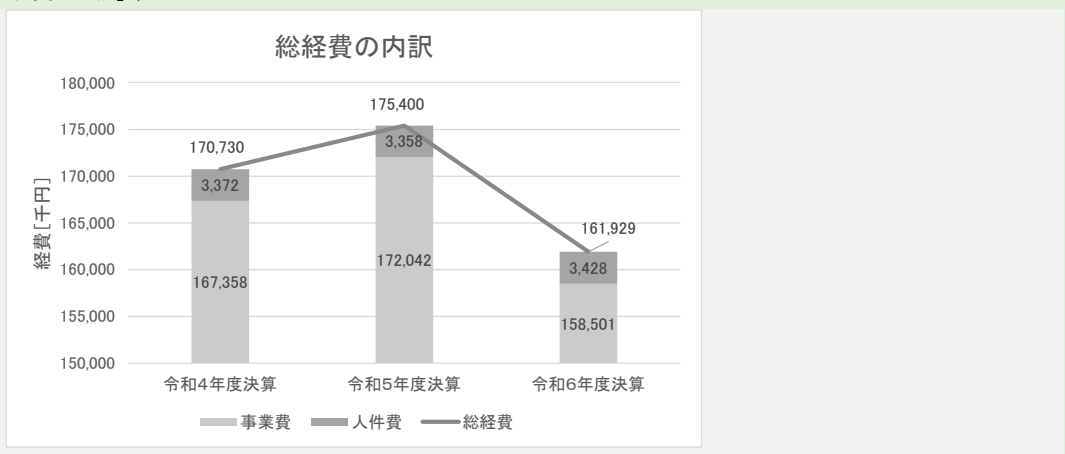
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	文化会館、はまゆう会館は、平成18年度から指定管理者制度が導入され、利用料金収入と指定管理料を財源に指定管理者による管理運営を実施している。直近では、令和3年に公募による指定管理者選定を実施し、よこすか文化パートナーズが選ばれ、現在も運営している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	167,358	172,042	158,501	165,199	千円
b 人件費	3,372	3,358	3,428	3,393	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	170,730	175,400	161,929	168,592	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
- 文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) - PCB廃棄物の処理 (業務委託料726,000円) - その他事務(16,632,896円)		- 文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) - 舞台備品の購入 (備品購入費2,122,120円) - その他事務(944,980円) - 指定管理施設光熱費等補助金(R4年度分) (負担金、補助及び交付金9,729,590円) ※令和4年度からの明許繰越分 - 指定管理施設光熱費等補助金(R5年度分) (負担金、補助及び交付金9,245,299円) ※残りは令和6年度へ明許繰越。	- 文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) - PCB廃棄物の処理 (業務委託料1,386,000円) - その他事務(49,280円) - 指定管理施設光熱費等補助金(R5年度分) (負担金、補助及び交付金623,409円) ※令和5年度からの明許繰越分 - 指定管理施設光熱費等補助金(R6年度分) (負担金、補助及び交付金6,443,503円) ※残りは令和7年度へ明許繰越。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R4→R5】 - その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。(13,532,821円→900,390円) - 指定管理施設光熱費等補助金を支出した。(R4繰越4月～3月分9,729,590円、R5現年度4月～12月分9,245,299円) 【R5→R6】 - その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填が終了したため、減少した。 - 指定管理施設光熱費等補助金は、前年度に比べ、影響額も少なく、支払い対象期間も異なったため、減少した。(R5繰越1月～3月分 623,409円、R6現年度4月～12月分6,443,503円)。		
今後の事業 の方向性	文化会館、はまゆう会館の老朽化に伴い、建物の改修等について検討しつつ、利用者の利便性のさらなる向上を図るとともに、事業内容の更なる検討・改善を重ねながら今後も維持継続していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	30	項目番号	2(1)
事務事業名	芸術劇場設備更新事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

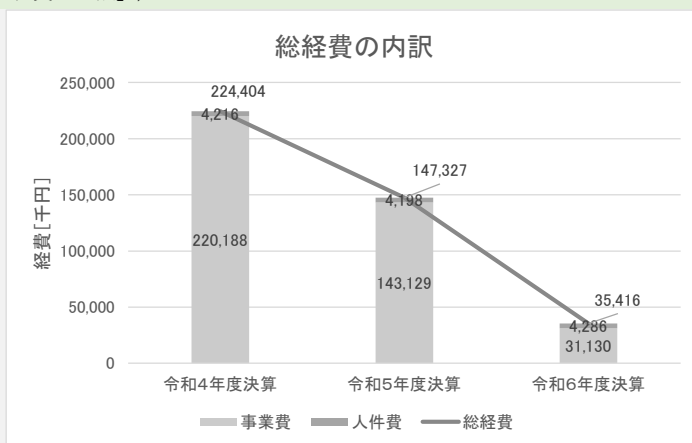
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賅いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。大劇場及び大・小リハーサル室特定天井改修工事に向け、R3(R4に明許繰越)に基本設計業務を実施、R4(R5に明許繰越)に実施設計業務を実施し、R6より特定天井改修工事を実施する(R7～R8継続事業)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	220,188	143,129	31,130	78,707	千円
b 人件費	4,216	4,198	4,286	4,242	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	224,404	147,327	35,416	82,949	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・舞台機構設備修繕(30,800,000円) ・舞台音響設備修繕(89,100,000円) ・建物設備工事・修繕(71,588,000円) ・天井改修工事関連 - 基本設計(15,400,000円) ※令和3年度からの繰越明許分。 - 実施設計前払金(13,300,000円) ※残りは令和5年度へ明許繰越。	・舞台音響設備修繕(10,010,000円) ・建物設備工事・修繕(101,827,000円) ・天井改修工事関連 - 実施設計(31,291,965円) ※令和4年度からの明許繰越分	・天井改修工事関連 - 天井改修その他工事前払金(22,176,000円) - 大劇場舞台機構設備保守業務委託(8,140,000円) - 見積徴収業務委託(814,000円)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年の修繕箇所や規模が違うことにより金額に差異が生じる。 令和6年度から8年度に実施している天井改修工事の6年度分にかかる支払いが発生した。
今後の事業 の方向性	計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられないため、令和6年度から8年度にかけて実施する特定天井の改修工事の実施に合わせ、その他付随する箇所の修繕を計画的に実施する必要がある。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	30	項目番号	2(2)
事務事業名	文化会館等設備更新事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

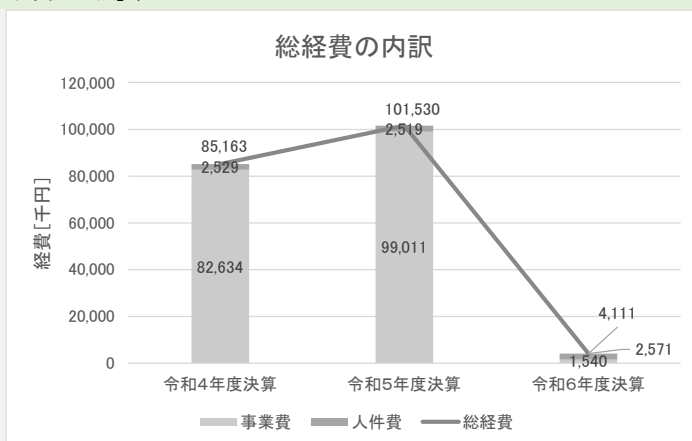
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賅いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	各設備の耐用年数或使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	82,634	99,011	1,540	1,925	千円
b 人件費	2,529	2,519	2,571	2,545	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	85,163	101,530	4,111	4,470	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・舞台音響設備修繕(2,134,000円) ・建物設備修繕(19,800,000円) ※令和3年度からの繰越明許分。 ・建物設備工事前払金(60,700,000円) ※残りは令和5年度へ明許繰越。 ・その他事務(0円) ※手数料(39,000円)を令和5年度に明許繰越。	・建物設備修繕(6,105,000円) ・その他事務費(38,500円) ・建物設備工事(92,866,600円) ※令和 4年度からの明許繰越分。	・舞台機構設備修繕(1,540,000円)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年の修繕箇所や規模が違ふことにより金額に差異が生じる。
今後の事業の方向性	計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられない。費用が圧縮できるよう関係者で協議を継続していくほか、建物の改修等についても検討していく必要がある。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	33	項目番号	2(2)
事務事業名	美術館教育普及事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術への理解を深め、美術館への親しみが持てるように、講演会やワークショップを開催するとともに、要望に応じた鑑賞補助プログラムや、学校と連携した鑑賞教育を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・講演会、ワークショップ、ギャラリートーク等教育普及事業の実施。 ・美術館ボランティアに対する研修およびイベント開催のサポート。 ・作品理解や展覧会理解のための印刷物、動画等のコンテンツ制作。 ・小学生美術鑑賞会等の学校連携事業。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,983	5,335	4,197	5,202	千円
b 人件費	16,644	16,817	14,870	14,500	千円
正規職員	1.6	1.6	1.3	1.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	3,154	3,383	3,728	3,472	千円
総経費（a + b）	21,627	22,152	19,067	19,702	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
対面型の事業を再導入しつつ、一部で、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、動画等オンラインを活用した教育普及事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会、対談13回(配信2シリーズを含む) 参加者計554人 ワークショップ7回 参加者計86人 パフォーマンス・イベント(能楽)1回 参加者計91人 (2) 展覧会関連以外の教育普及事業 ワークショップ21回 参加者計240人 映画会4回 参加者計379人 ボランティア・イベント8回 参加者計563人 農水産業振興課との連携イベント2回 参加者計581人 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 89団体。総参加者数3,842人	対面型の事業を全面的に再開し、講演会やワークショップに加え、音楽会やライブペインティングなど幅広い事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会7回 参加者計338人 ワークショップ8回 参加者計124人 音楽会、ライブペインティングなど5回 参加者計334人 ギャラリートーク(学芸員)4回 参加者計49人 (2) 展覧会以外の教育普及事業 ワークショップ20回 参加者計344人 映画会4回 参加者計609人 ボランティア・イベント9回 参加者数計245人 農水産業振興課との連携イベント2回 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 88団体。総参加者数3,508人	講演会や連続講座、ワークショップなど、幅広い事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会7回 参加者計267人 ワークショップ16回 参加者計1,079人 ギャラリートーク(学芸員)6回 参加者計81人 (2) 展覧会以外の教育普及事業 ワークショップ22回 参加者計383人 映画会4回 参加者計93人 ボランティア・イベント8回 参加者数計375人 農水産業振興課との連携イベント2回 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 85団体。総参加者数3,456人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が緩やかになったことを受け、前年度まで中止していた対面型の事業を多く復活させた。令和5年度は、対面型を全面的に復活させるとともに、音楽会やライブペインティングなど幅広い事業を実施した。令和6年度の経費減少は、人件費の算出変更と、ボランティアイベントなど普及事業全体にかかる消耗品費を他事業費へ集約したことによるもので、実施数やその質としては変わらず、従来と同様に幅広い事業を実施し、多くの参加者を獲得することができた。
今後の事業 の方向性	事業目的を達成するために、未就学児や児童生徒、成人、高齢者など幅広い世代のニーズを把握するよう努め、講演会やワークショップなどのイベントの企画に活かす。また、随時来館する学校団体などに対しても細やかに対応をすることで、新規の来館者を増やすとともに、リピーターの獲得を目指してゆく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	33	項目番号	2(3)
事務事業名	美術品収集管理保管事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課			

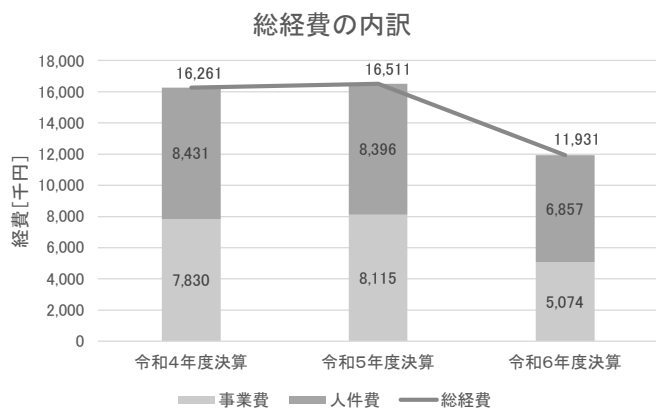
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	所蔵作品を館内外の展示等で有効に活用するため、美術館の使命の一つである美術品の収集、保存、管理を適切に行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・美術品収集（購入、寄贈等）およびそのための調査 ・横須賀美術館美術品評価委員会の開催 ・所蔵作品の修復および額装 ・所蔵作品の貸し出し ・収蔵・展示施設の環境調査						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,830	8,115	5,074	30,464	千円
b 人件費	8,431	8,396	6,857	6,786	千円
正規職員	1.0	1.0	0.8	0.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	16,261	16,511	11,931	37,250	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・美術品の整理 修復1点、額装7点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入2点、寄贈18点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 5件、貸出点数68点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。 ・虫害防除 1回	・美術品の整理 修復1点、額装49点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入20点、寄贈343点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 5件、貸出点数18点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。	・美術品の整理 修復2点、額装3点、マット装38点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入0点、寄贈255点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 6件、貸出点数19点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和元年度に設置したふるさと納税等の寄附による美術品等取得基金を財源とし、令和3年度以降美術品を購入している。令和4年度は2,500千円、令和5年度は3,300千円のアート品購入を行った。令和6年度は調整に時間を要して年度内でのアート品購入完了が困難となったため、令和7年度に購入を繰り越した。
今後の事業 の方向性	収集方針に沿った体系的な収集につとめる。 有限である収蔵施設を適正な状態に保つため、作品の整理整頓と清掃を行う。 作品データベースの公開と、画像データの管理について仕組みを検討する。 所蔵する作品の状態調査をさらに進め、適切な修復・額装を行う。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	34	項目番号	2(4)
事務事業名	美術館運営事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課		

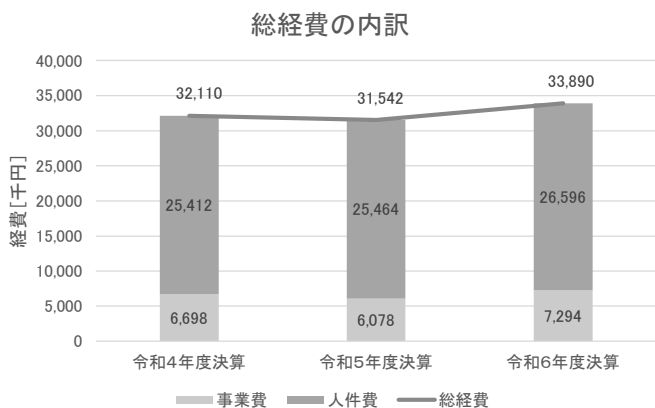
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	図書室の運営のほか、美術館運営評価制度の運用、広報宣伝事業、全館共通印刷物制作、地域連携など館全体に関わる事業を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・図書室の運営に係る会計年度任用職員の雇用、美術図書の購入や収集調査 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館ニュースの発行 ・広報物の送付やX等SNSの運用、交通広告やメディアへの広告や取材対応 ・団体観覧への対応、地域との連携事業						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	6,698	6,078	7,294	7,819	千円
b 人件費	25,412	25,464	26,596	25,787	千円
正規職員	1.8	1.8	1.8	1.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	10,236	10,351	11,168	10,518	千円
総経費（a + b）	32,110	31,542	33,890	33,606	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・図書資料の収集 677冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、ツイッター等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 408件、テレビ・ラジオ放送 28件 ・商業撮影 24件 ・団体観覧の受入 8,090人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 9回	・図書資料の収集 731冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、X等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 443件、テレビ・ラジオ放送 55件 ・商業撮影 32件 ・団体観覧の受入 13,448人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 9回	・図書資料の収集 769冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、X等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 1,000件、テレビ・ラジオ放送 46件 ・商業撮影 22件 ・団体観覧の受入 9,870人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 6回
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【令和4年度】人件費の減は、広報係長の減による。／新しい取り組みとして、開館前のウェルカムコンサートを開始した。／パンフレットや封筒は例年どおり制作した。 【令和5年度】令和4年度は運慶展広報用印刷物を制作したが、令和5年度は制作しないため、事業費が減少した。／テレビCM撮影や有名アーティストのミュージックビデオ撮影などを積極的に受け入れたこと、世界の絶景美術館に選出されたことなども契機となって、コロナ禍において減少していた団体観覧が急増した。／展覧会観覧に繋げるため、開館中の展示室内でのウェルカムコンサートを開始した。 【令和6年度】隔年で増刷している『谷内六郎コレクション120』図録の制作があったこと等による。／注目度の高いジブリ展をはじめ、運慶展やダリ展の開催、およびPR TIMESの活用により、メディア掲載数が増加した。／リリースやSNS発信によりアジサイの名所としての認知度も向上してきており、商業撮影のみならず季節の花々などでのテレビ露出も増加した。／開館中の展示室内でのウェルカムコンサートが定着しつつある。	
今後の事業 の方向性	SNS等の訴求活動を通じた情報発信や、積極的な商業撮影の受入れなどで、横須賀美術館の認知度は高まっていると感じている。 美術館のPRを一層強くするため訴求活動や外部連携を強化していきたい。 図書室については、今後も美術への興味や理解が深まる場の提供を目的として、美術関連の資料(図書、カタログ等)を収集し、整理・保管を実施していく。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	20	説明資料	35	項目番号	3
事務事業名	美術館管理事業										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												美術館運営課		

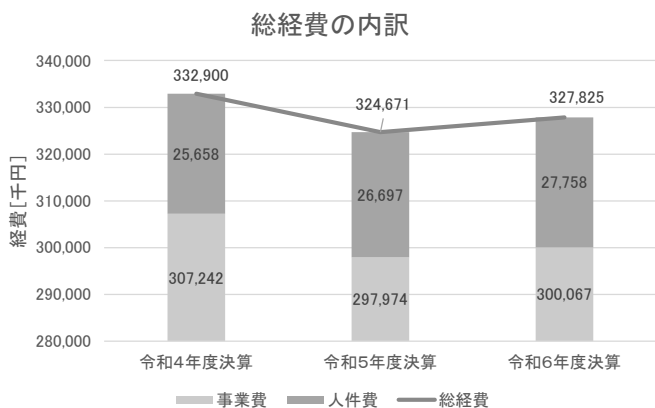
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	・横須賀美術館を適正に維持管理し、施設を永く維持できるようにする。 ・円滑な運営を行うことで、利用者の満足度を高める。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・施設及び敷地の適正な維持管理。 ・受付・展示監視及び施設の清掃、警備、各種設備の保守管理委託及び委託業者との連絡調整。 ・委託事業者、レストラン、ミュージアムショップと連携し、ホスピタリティのある来館者サービスを実施。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	307,242	297,974	300,067	358,935	千円
b 人件費	25,658	26,697	27,758	26,990	千円
正規職員	2.4	2.4	2.4	2.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	5,424	6,547	7,188	6,631	千円
総経費（a + b）	332,900	324,671	327,825	385,925	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設・設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・本館屋根ガラスの防水(シーリング)工事 ・空調用自動制御装置、空調用冷水ポンプの不具合箇所の交換修繕	・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設・設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・非常用発電機の故障に伴う修繕 ・空調熱源設備2台の故障に伴う内部機構の交換修繕 ・本館屋根ガラスの防水(シーリング)工事	・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設・設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・空調機(エアハンドリングユニット)の老朽化に伴う劣化部品の交換修繕 ・空調自動制御機器の交換修繕 ・空調熱源設備の故障に伴う内部機構の交換修繕
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度は、美術館の臨時休館がなかったことや、「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」等の企画展が好調だったため、光熱水費や委託料等が増加した。 令和5年度は年度途中に契約変更を行い光熱水費(電気)の支出額を抑えることができたが、開館から16年が経過し、小破修繕に係る費用は引き続き増加している。 令和6年度についても、前年度の契約変更により光熱水費(電気)の支出額を大幅に抑えることができたものの、設備の老朽化、経年劣化が進み、前年度以上に修繕料の支出が増大している状況。	
今後の事業の方向性	引き続き、施設の維持管理、安全性の確保を念頭に置いたうえで、費用対効果を考慮しながら計画的に修繕等のメンテナンスを行っていく。現状を維持しつつ、更なる来館者の満足度向上に繋がるような、新たな施策を検討していく。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	36	項目番号	4(1)
事務事業名	美術品等取得基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課		

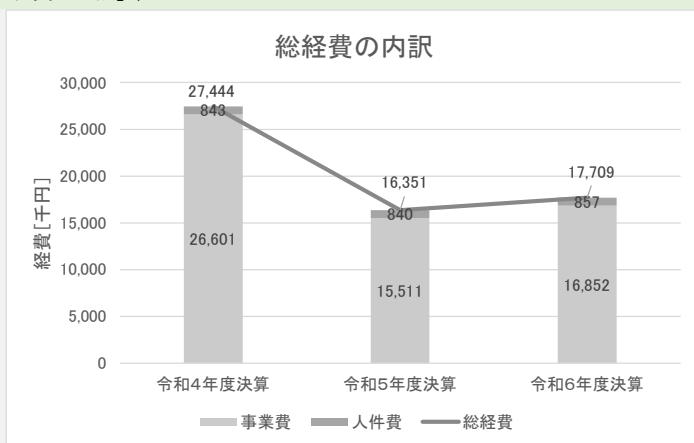
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術館運営に必要な美術品及び美術に関する資料を取得する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	ふるさと納税等による寄附を美術品等取得基金に積立を行い、将来の美術品購入の財源とする。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	26,601	15,511	16,852	20,583	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	27,444	16,351	17,709	21,431	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・美術品等取得基金利子収入 45円 ・ふるさと納税 340件 26,512,000円 ・募金箱 58,848円 ・直接寄附 30,000円 合計 26,600,893円	・美術品等取得基金利子収入 3,677円 ・ふるさと納税 15,379,500円 ・募金箱 127,529円 合計 15,510,706円	・美術品等取得基金利子収入 27,026円 ・ふるさと納税 16,393,961円 ・募金箱 431,029円 合計 16,852,016円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年度は美術品等取得基金を指定した「横須賀応援ふるさと納税」の件数及び金額が多く、基金積立金の残高が増加した。令和5年10月から「横須賀応援ふるさと納税」の指定寄附先が5つの分野別に改められ、美術品等取得基金には、令和5年度、令和6年度ともに5つの分野のうち『音楽・スポーツ・エンターテインメント』によるにぎわいのあるまちづくり分野を指定した寄附金から相応額が割り振られた。令和4年度から館内に募金箱を設置し、その寄附金も基金に積み立てているが、観覧者数の増に伴って募金額も増加している。
今後の事業 の方向性	収集方針に即した体系的な作品収集のため、財源確保を積極的に進める。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	48	項目番号	3(3)
事務事業名	日米親善よこすかスプリングフェスタ事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

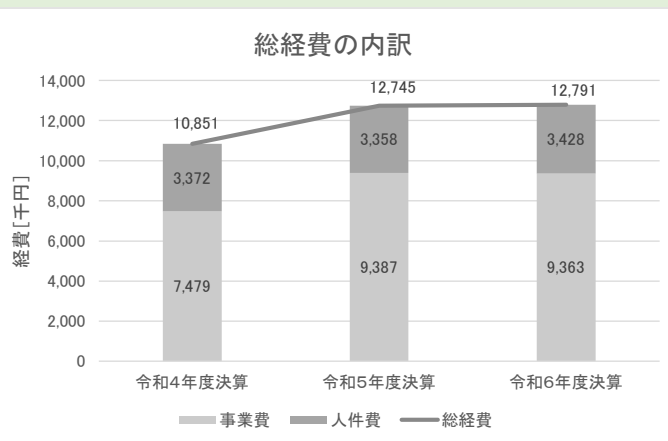
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	「日米親善よこすかスプリングフェスタ」を開催することで、日米間の友好親善を図るとともに、市内外に広く宣伝することにより、『横須賀の観光』のイメージアップを推進し、交流人口の増加を図る。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画	
具体的な事業内容	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,479	9,387	9,363	11,051	千円
b 人件費	3,372	3,358	3,428	3,393	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	10,851	12,745	12,791	14,444	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和5年3月25日(土) 会 場: 米海軍横須賀基地 来場者数: 21,000人 備 考: 混雑対策のため、事前予約制により実施		日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和6年3月23日(土) 会 場: 米海軍横須賀基地 来場者数: 23,000人 備 考: 混雑対策のため、事前予約制により実施	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和7年3月22日(土) 会 場: 米海軍横須賀基地 来場者数: 55,000人 備 考: 事前予約制は取りやめ
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	・令和4年度は米軍基地内への入場ルールの変更や混雑による危険回避のため、事前予約制を導入し、経費が増となった。 ・令和5年度は、令和4年度に事前予約性を導入したことで問い合わせ件数が多くなり、これを対策するための専用コールセンターを設置したことと、物価高騰の影響を受け、さらに経費が増となった。 ・令和6年度は、事前予約制は行わなかったが、物価や人件費の高騰により前年同程度の事業費となった。		
今後の事業 の方向性	・令和6年度は天候にも恵まれ、来場者は前年度を大きく上回る55,000人に上るなど集客面において魅力が高く、市外の方々に横須賀を知っていただき、そして来訪していただく機会となっている。また、普段とは違う米海軍横須賀基地内の雰囲気の中で、飲食や買い物ができることを多くの方々が楽しみにしているイベントであり、日米間の友好親善を図ることのできる数少ないイベントの一つともなっていることから、引き続き米海軍横須賀基地のご協力のもと、事業を実施していきたい。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	49	項目番号	4(1)
事務事業名	観光団体助成事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

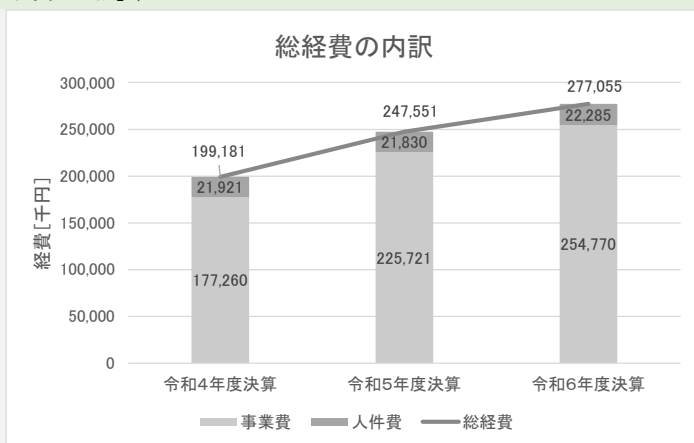
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことで、本市の観光振興・経済の活性化を図る。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	1 (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付(観光案内所の運営、よこすかシティガイドの活動支援、人件費等) 2 (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付(よこすかYYのりものフェスタ、よこすかみこしパレード、日米親善ベース歴史ツアー、海上自衛隊戸台分庁舎ガイドツアー、海上自衛隊戸台分庁舎一般公開) 3 カレーの街よこすか推進委員会への負担金(・広報活動、キャンペーン事業・イベント活動(よこすかカレーフェスティバル等の開催)・宣伝物制作(よこすか海軍カレーガイドブック等)) 4 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 5 観光行事への市長賞交付 6 海水浴場の開設補助						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	177,260	225,721	254,770	281,906	千円
b 人件費	21,921	21,830	22,285	22,056	千円
正規職員	2.6	2.6	2.6	2.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	199,181	247,551	277,055	303,962	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
(1) (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2) (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2022 イ よこすか開国花火大会 ウ 日米親善ベース歴史ツアーへの支援 ※よこすかみこしパレード、海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開及びガイドツアーは開催中止 (3) カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2022の開催及びガイドブックの発行 (4) 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計30件 イ 各種観光団体主催事業 計4件 (5) 観光行事への市長賞交付 計9件 (6) 海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1) (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2) (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2023 イ よこすか開国花火大会 ウ 日米親善ベース歴史ツアーへの支援 ※よこすかみこしパレード、海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開及びガイドツアーは開催中止 (3) カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2023の開催及びガイドブックの発行 (4) 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計34件 イ 各種観光団体主催事業 計6件 (5) 観光行事への市長賞交付 計8件 (6) 海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1) (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2) (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2024 イ よこすか開国花火大会 ウ よこすかみこしパレード エ 日米親善ベース歴史ツアーへの支援 オ 海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開及びガイドツアー (3) カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2024の開催及びガイドブックの発行 (4) 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計36件 イ 各種観光団体主催事業 計4件 (5) 観光行事への市長賞交付 計8件 (6) 海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和4年度は、一部イベントの実施が再開したことにより経費が増加となっているが、コロナウイルス発生以前の総経費約2.2億円と比べると、ほぼ横ばいである。 ・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類になり、各種イベントが再開した。また、昨今の物価高騰、人件費高騰の影響により経費が増加となっている。 ・令和6年度は、令和5年度よりさらに物価や人件費が高騰し、経費が増えたことにともない事業費が増加している。
今後の事業 の方向性	・当該事業は、各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことが地元経済の活性化の一助となっている。 ・また、本市観光振興の中核的組織である（一社）横須賀市観光協会への支援も、今後更なる機能強化推進のために継続する必要がある。 ・大型イベントなど各事業における経費負担については引き続き適正化を図る必要があると考えるため、イベント実施における経費負担を整理し、自主財源の確保等を検討する。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	51	項目番号	5(1)
事務事業名	観光地整備・美化事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											観光課		

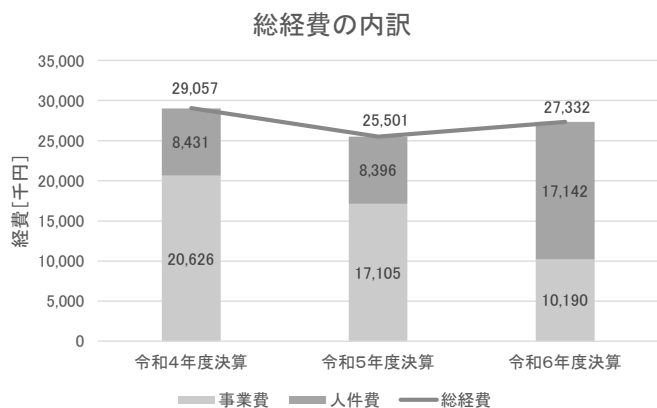
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	観光施設の整備及び観光地の美化事業を行うことにより、観光客に快適な環境及び情報を提供する。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	1 大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 2 観光地の美化清掃 3 ハイキングコース巡視 4 観光施設案内看板等修繕 5 Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージの維持管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	20,626	17,105	10,190	11,389	千円
b 人件費	8,431	8,396	17,142	16,966	千円
正規職員	1.0	1.0	2.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	29,057	25,501	27,332	28,355	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠平公衆トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠平公衆トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延78回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武上山山頂 延32回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山山頂展望台小破修繕 (5)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理 (6)旧荒崎シーサイドコース橋梁撤去工事	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠平公衆トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠平公衆トイレ用地借上げ ウ 大楠平公衆トイレ小破修繕 エ 大楠平公衆トイレ用地購入 (2)ハイキングコース等美化清掃 大楠山ほか7か所 延70回 (3)ハイキングコース巡視 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理 (5)荒崎シーサイドコース防衛柵補修修繕工事	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山・武山休憩所、大楠平公衆トイレの維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ ウ 大楠平公衆トイレ小破修繕 エ 大楠山ビューハウス建材成分分析調査 (2)ハイキングコース等美化清掃 大楠山ほか7か所 延70回 (3)ハイキングコース巡視 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理 (5)旧荒崎シーサイドコース橋梁撤去

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・観光施設やハイキングコースにおいて、老朽化した設備等の改修、通路やトイレ等の清掃・維持管理により観光客の利便性の向上を図り、快適なレクリエーション環境の提供を行っている。 ・単年度実施の工事による増減はあるが、美化清掃委託や小破修繕など定例的な経費であるため、基本的な経費に大きな増減はない。 ・デジタルサイネージは、機器の老朽化と機能不足が課題であり、事業見直しの結果、廃止することとした（JR横須賀構内：令和7年3月末、Yデッキ上：令和7年5月末）
今後の事業 の方向性	・大楠山・武山山頂などの観光施設やハイキングコース等を市が管理している間は、引き続き事業を継続する必要がある。 ・老朽化により解体予定の大楠山ビューハウス・展望塔等への対応について、大楠山全体の活用検討と併せて今後調整を進めていく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	52	項目番号	6(1)
事務事業名	観光立市推進基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

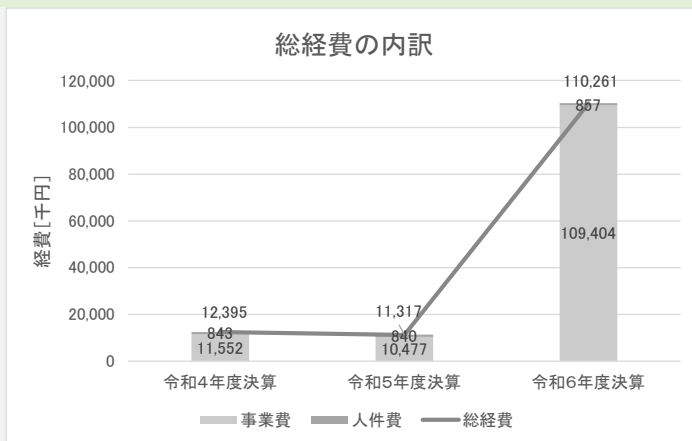
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務							
根拠法令								
事業目的	観光に関する意識の向上を図るため「観光立市推進基金」を平成30年度に創設し、観光立市推進基金への寄附を募り、観光の魅力発信や観光客の受け入れ環境の整備を進める。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画	
具体的な事業内容	・観光立市推進基金への指定寄附分の積立金 ・観光立市推進基金の運用利子分の積立金							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	11,552	10,477	109,404	109,404	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	12,395	11,317	110,261	110,252	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・観光立市推進基金利子収入 101円 ・ふるさと納税 184件 11,552,000円 - 合計 11,552,101円	・観光立市推進基金利子収入 1,531円 ・ふるさと納税 10,475,874円 - 合計 10,477,405円	・観光立市推進基金利子収入 7,088円 ・ふるさと納税 109,396,898円 - 合計 109,403,986円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和4年度は寄附件数及び金額が増加し、令和3年度に比べて積立金が増加した。 ・令和5年度は、年度途中よりふるさと納税の寄附配分の運用方法の変更および各基金への寄附額割り当ての結果、若干の減額となった。 ・令和6年度は、ふるさと納税の寄附額の大幅増に伴い増となった。
今後の事業 の方向性	今後も割り当てられた寄附を有効に活用し、観光地としての知名度向上、観光地としての整備を図る。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	56	項目番号	2(1)
事務事業名	スポーツ推進審議会									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

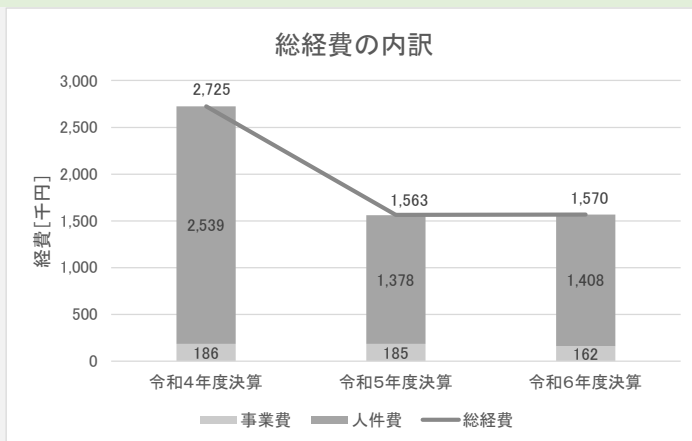
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第31条、スポーツ推進審議会条例						
事業目的	本市のスポーツ推進の重要事項について調査審議する					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	委員は12名で、その内訳は、公募市民2名、関係団体代表者10名（体育協会、学区体育振興会、神奈川県立保健福祉大学、神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会、レクリエーション協会、横須賀市スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ指導者競技会、中学校体育連盟、小学校体育研究会、スポーツ推進委員協議会）、学識経験者1名で構成されている。年度内に2～3回会議を開き本市のスポーツ推進に関し審議を重ねている。主な審議内容は、毎年度のスポーツ関係事業の進捗状況や当該年度の予算主要事業の報告並びに計画策定など。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	186	185	162	272	千円
b 人件費	2,539	1,378	1,408	1,364	千円
正規職員	0.3	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	10	10	10	10	千円
総経費（a + b）	2,725	1,563	1,570	1,636	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
会議開催数 2回 参加委員数 延16名	会議開催数 2回 参加委員数 延16名	会議開催数 2回 参加委員数 延17名

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年度から通常の形式（令和3年度以前は感染症の影響を考慮し、書面開催あり）で年2回開催している。
今後の事業の方向性	令和7年度はスポーツ推進計画の改定を中心にスポーツ推進に関する審議を重ねていく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	56	項目番号	2(2)
事務事業名	市スポーツ推進委員									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

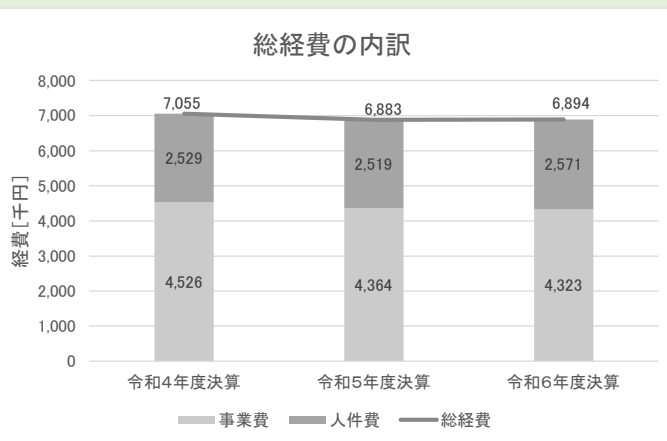
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第32条						
事業目的	スポーツ基本法第32条に基づき、本市スポーツ活動推進のため、事業実施に係る連絡調整並びに実技指導その他スポーツに関する指導助言を行い、地域住民の健康増進、体位向上を図るとともに講習会、研修会等への参加を通じて資質の向上を図ることを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	スポーツ推進委員は、学区体育振興会を推薦母体とし、委員相互の連絡調整とスポーツ推進のための体制を整備することを目的に、横須賀市スポーツ推進委員協議会を組織しており、定数は322名以内となっている。所属する学区体育振興会主催の健民運動会、歩こう会、児童ソフトボール大会等の企画・運営及び本市主催のレクリエーション関係事業等に積極的に協力参加する。また、資質向上のため、各種研究大会・実技研修会に参加している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,526	4,364	4,323	4,966	千円
b 人件費	2,529	2,519	2,571	2,545	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	7,055	6,883	6,894	7,511	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和４年度の活動実績	令和５年度の活動実績	令和６年度の活動実績
スポーツ推進委員数 299人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 287人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 278人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 3回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	雨天中止による1回を除き、協議会主管による事業活動は予定どおり行うことができ、総経費も前年度と同水準となった。
今後の事業の方向性	スポーツ推進委員は本市のスポーツ振興に欠かせない存在であるため、事業は維持継続し、活発な活動を後押しする。

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	9	目	1	説明資料	56	項目番号	2(3)(4)																
事務事業名	自動車損害共済基金分担金および一般事務費										所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込			未定																					
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																													
根拠法令																														
事業目的	スポーツ振興課の業務全般に係る総務的な事務を円滑に遂行する									分野別計画																				
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					1,595	1,784	1,788	2,091	千円																					
b 人件費					1,686	1,877	1,912	1,895	千円																					
正規職員					0.2	0.2	0.2	0.2	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	198	198	198	千円																					
総経費（a + b）					3,281	3,661	3,700	3,986	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>1,595</td><td>1,686</td><td>3,281</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>1,784</td><td>1,877</td><td>3,661</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>1,788</td><td>1,912</td><td>3,700</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	1,595	1,686	3,281	令和5年度決算	1,784	1,877	3,661	令和6年度決算	1,788	1,912	3,700
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	1,595	1,686	3,281																											
令和5年度決算	1,784	1,877	3,661																											
令和6年度決算	1,788	1,912	3,700																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	特になし																													
今後の事業の方向性	社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務を執行する。																													

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	57	項目番号	2
事務事業名	学校体育施設開放奨励事業費								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

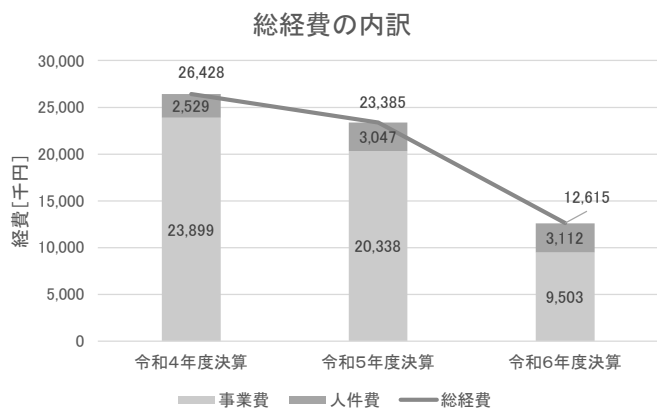
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第13条						
事業目的	スポーツ基本法の主旨により、青少年及び一般地域住民のスポーツ愛好団体等にスポーツやレクリエーションの場として、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、健全な余暇利用を促進する。さらに、地域児童の安全な遊び場及び自由なコミュニケーションの場として、学校体育施設を開放する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各開放校に地域住民等で構成された運営委員会を設置し、協議しながら円滑に学校体育施設の開放を行っている。 (1)開放校(全市立小中学校にて開放) 小学校46校 中学校23校(25箇所・旧桜台中学校、旧上の台中学校含む) 合計69校(71箇所) (2)開放施設 体育会館(武道館含む)及び校庭						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	23,899	20,338	9,503	11,253	千円
b 人件費	2,529	3,047	3,112	3,050	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	26,428	23,385	12,615	14,303	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
利用人数(延べ) 1,141,081人	利用人数(延べ) 1,456,121人	利用人数(延べ) 913,026人 ※これまで各学校が報告していた実績報告について、学校ではなく各利用団体がシステムを利用して、実績を報告する方法に移行を進めていることにより、利用団体側でシステムに入力していないと思われる実績が散見する。そのため、合計の人数としては減少しているが、実態としての学校体育施設の利用に大きな変化や変更は生じていない。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度から自主管理方式への移行を奨励したことにより、令和6年度も自主管理方式を採用する学校が増えたこと、また、小学校・中学校への報償費の上限額を減額したことにより、支出額が減となっている。
今後の事業の方向性	令和7年度からは一般開放について、学校体育施設開放事業の対象外とし、団体開放についても第三者管理における管理員への報償金は廃止（桜小学校、大塚台小学校は除く）とするが、今後も継続する。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	9	目	2	説明資料	58	項目番号	3(1)
事務事業名	市民スポーツ教室										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												スポーツ振興課		

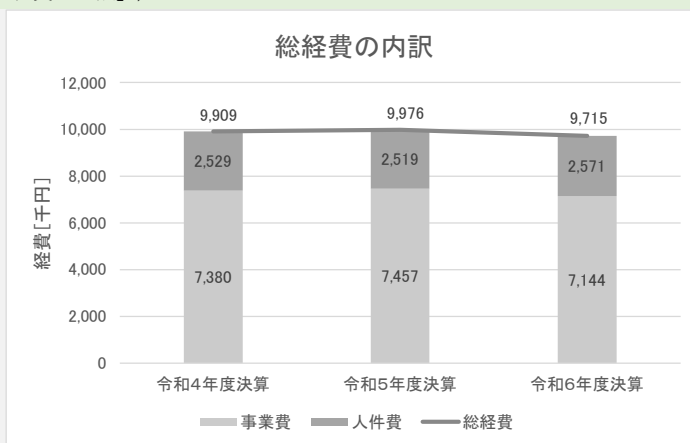
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	スポーツを通して健康づくりを行なうこと、スポーツを習慣化すること、スポーツの基礎技術の習得を図ることを目的に、幼児から高齢者までを対象に、各種スポーツに関する教室を開催し、市民に広く健康的に体を動かす機会を提供する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各種目団体にスポーツ教室の運営を委託し、下記の20教室を企画。 ・健康体力づくり教室 ・幼児の体力づくり教室 ・楽しくエアロビクス教室 ・はつらつ体操教室 ・スポーツレクリエーション教室(卓球教室、フォークダンス教室) ・小学生水泳教室 ・夏休みジュニア水泳教室 ・冬・春休みファミリー・ジュニアスキー教室 ・ジュニア相撲教室 ・夏休み小学生ソフトテニス体験教室 ・太極拳教室 ・ジュニア新体操教室 ・ジュニア卓球教室 ・なぎなた教室 ・アーチェリー教室 ・ジュニアラグビー教室 ・ジュニア陸上教室 ・ジュニアレスリング教室 ・ウインドサーフィン教室 ・F・マリノスふれあいフットサルタイム						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,380	7,457	7,144	7,644	千円
b 人件費	2,529	2,519	2,571	2,545	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	9,909	9,976	9,715	10,189	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
参加者数 2,710人		参加者数 1,925人	参加者数 1,793人
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	20教室あるうち、ジュニアバドミントン教室の委託開催が難しくなったことから、アーチェリー教室を新規開催。 開催教室の内容を変更したことにより事業費が減少したため、総経費も減少した。		
今後の事業 の方向性	拡充と共に、参加率が乏しい教室の縮小も今後検討。より多くの市民に参加の機会を設けるため、広報の仕方を工夫する(各教室独自のチラシ配布)といった視点を持ちながら、状況を注視していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	9	目	2	説明資料	59	項目番号	3(2)
事務事業名	市民体育大会										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												スポーツ振興課		

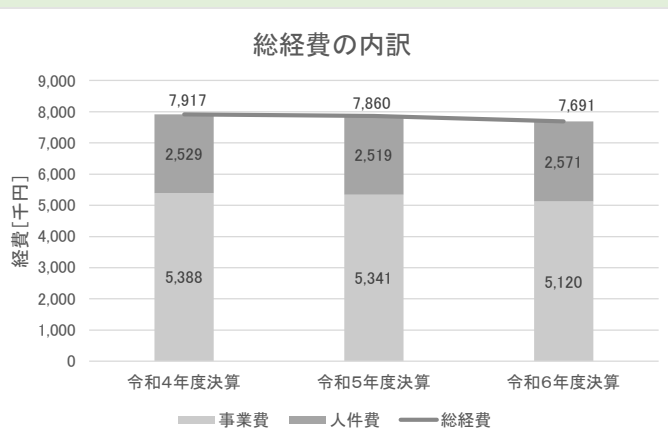
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	市民の体力づくり、本市体育・スポーツの振興と競技力向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な 事業内容	横須賀市スポーツ協会加盟の各種目団体に委託し年間を通じて37種目（合気道、アーチェリー、カヌー、空手道、弓道、クレイ射撃、ゲートボール、剣道、ゴルフ、サッカー、山岳、銃剣道、柔道、少林寺拳法、水泳、スキー、相撲、ソフトテニス、ソフトボール、太極拳、体操、卓球、ダンススポーツ、テニス、なぎなた、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ハンドボール、ボウリング、ボクシング、野球、ヨット、ライフル射撃、ラグビー、陸上競技、レスリング）の市民体育大会を開催する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,388	5,341	5,120	5,590	千円
b 人件費	2,529	2,519	2,571	2,545	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	7,917	7,860	7,691	8,135	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を34種目実施した。	横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を33種目実施した。	横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を33種目実施した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	会場調整がつかない等の理由から大会を実施できない団体が複数あることに加え、令和6年度は台風接近による大会中止もあったことから横須賀市スポーツ協会各団体への業務委託料が前年と比較し減となった。
今後の事業 の方向性	例年約3万人もの選手が参加する横須賀市最大の競技大会となっている。 本市全体のスポーツ振興に効果をあげており、スポーツ協会と連携した事業として維持継続すべきと考える。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	59	項目番号	3(3)
事務事業名	各種競技大会事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	市民の健康・体力増進、競技力向上、青少年の心身の健全育成を行いながら、地域のスポーツ振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	【秋山翔吾カップ(横須賀市少年野球大会)】青少年の心身の健全育成を目的として児童生徒の夏季休暇中に開催され、令和6年度には第71回を数える歴史ある軟式少年野球大会。市内各地域にある少年野球チームが一堂に会し、小学生、中学生別のトーナメント方式により対戦する。 【ソレイユの丘駅伝(横須賀市民駅伝競走大会)】毎年12月中旬、約100チーム(約600名)が参加し、令和6年度には第79回を数える歴史ある市民駅伝競走大会。市民が健脚を競い合うこの大会は、令和5年度からリニューアルオープンした長井海の手公園ソレイユの丘で開催。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	695	1,411	1,349	1,692	千円
b 人件費	5,149	5,128	5,233	5,180	千円
正規職員	0.6	0.6	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	90	90	90	90	千円
総経費（a + b）	5,844	6,539	6,582	6,872	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
【第69回横須賀市少年野球大会】 参加チーム数 学童部17チーム、中等部8チーム。 【第77回横須賀市民駅伝競走大会】 会場となる長井海の手公園ソレイユの丘がリニューアルオープンに伴う工事期間中のため開催中止。		【第1回秋山翔吾カップ(第70回横須賀市少年野球大会)】 参加チーム数 学童部16チーム、中等部10チーム。 【ソレイユの丘駅伝(第78回横須賀市民駅伝競走大会)】 参加チーム数 90チーム。	【第2回秋山翔吾カップ(第71回横須賀市少年野球大会)】 参加チーム数 学童部16チーム、中等部10チーム。 【ソレイユの丘駅伝(第79回横須賀市民駅伝競走大会)】 参加チーム数 101チーム。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	人件費増による総経費の増。		
今後の事業 の方向性	【秋山翔吾カップ(横須賀市少年野球大会)】これまでは児童生徒の夏季休暇中に開催をしていたが、今後は熱中症予防対策の観点から9月下旬から10月上旬の2週に渡り開催予定。 【ソレイユの丘駅伝(横須賀市民駅伝競走大会)】くりはま花の国周回コースで行っていた大会を、平成27年度の第70回大会を機に、交通状況等の課題を解決するためにも、装いを新たに長井海の手公園ソレイユの丘の園内周回コースに会場を変更した。参加するランナーと一般来場者の双方に楽しんでもらえるような仕掛けづくり等を検討しながら維持継続できるようにしていく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	59	項目番号	3(4)
事務事業名	国県体育大会等選手派遣事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

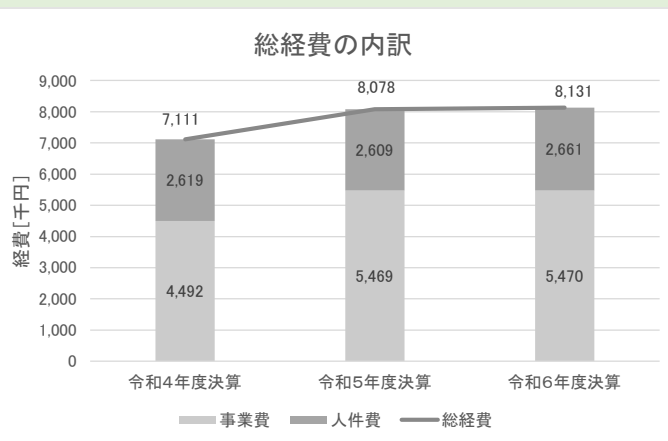
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第6条、第20条						
事業目的	全国大会等の出場選手・チーム・役員のスポーツ大会への参加を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	(1)本市在住・在勤・在学者の国民スポーツ大会等及び全国大会・国際スポーツ大会出場者に対する支援。 (2)上記(1)の申請者のうち、国の強化選手指定等を受けた者に対する支援。 (3)本市国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会出場者の杜行会開催に係る経費。 (4)市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し参加することによって、競技力の向上や他都市とのスポーツの交流を図る。 (5)秋山翔吾Special Match KUROFUNE CUPの大会開催と、代表選手団を派遣によりプロアスリートや他都市との交流を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,492	5,469	5,470	6,408	千円
b 人件費	2,619	2,609	2,661	2,635	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	90	90	90	90	千円
総経費（a + b）	7,111	8,078	8,131	9,043	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人236人、団体16チーム) 上記のうち、国の強化選手指定を受けた選手に奨励金を交付した。(個人1人) 国体壮行会は新型コロナウイルス感染症の拡大や感染を懸念して中止とした。 第77回市町村対抗かながわ駅伝競走大会は、降雪の影響により中止となった。	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人320人、団体11チーム) 国体に出場する44名に対して壮行会を実施した。 第78回市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し、参加した。(4位)	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人327人、団体5チーム) 国民スポーツ大会等に出場する39名に対して壮行会を実施した。 第79回市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し、参加した。(5位) 横須賀盛り上げ大使である秋山選手と縁のある下田市選抜チームとの秋山翔吾Special Match KUROFUNE CUPを開催した。(本市選抜選手14名を派遣)。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	奨励金の交付件数は制度の認知度の上昇もあり、コロナ前の年度と比較しても増加する結果となった。	
今後の事業の方向性	スポーツ大会出場者奨励金は、申請件数も増加傾向にあり、且つ、市内の競技力向上の一役を担う事業であるため、今後も維持継続していく。 また、国民スポーツ大会等出場者への壮行会の開催については、共催である横須賀市スポーツ協会と協議し検討を進める。 市町村対抗かながわ駅伝競走大会についても、主催する神奈川県を中心に、県内各自治体が申し込み等の事務を担う役割があるため、市陸上競技協会と連携を図り、大会に参画していく。 秋山翔吾Special Match KUROFUNE CUPについては本市出身のプロアスリートと小学生が触れ合う機会となるため、協力団体である下田市等と連携し、大会へ参画していく。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	60	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

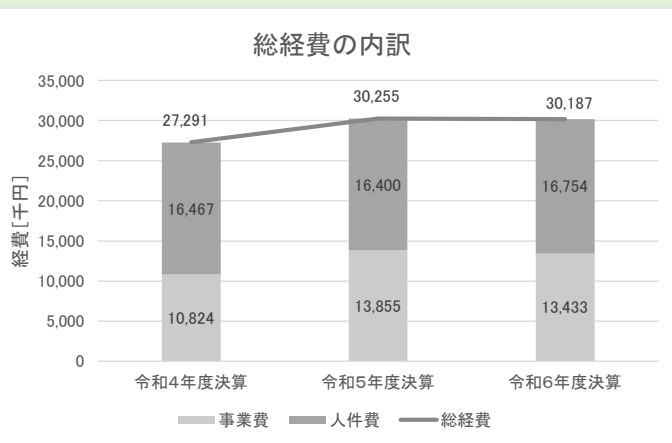
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	スポーツ基本法第24条							
事業目的	本市のレクリエーション活動の普及振興を図り、健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	市民が参加できるレクリエーションイベント(春季・秋季市民レクリエーション大会、よこすかスポーツフェスタ、児童・成人球技大会、YOKOSUKAサッカーフェスティバル)の実施、子どもの運動能力向上やスポーツの裾野拡大が期待できる事業(小学校でのリズムトレーニング講師派遣、スポーツ能力測定会)の実施、登山への市民参加が得られるよう市民登山の会への補助金交付、夏休みを利用したラジオ体操の会を実施する各学区体育振興会等にラジオ体操精勤賞状と出席カードの配布。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	10,824	13,855	13,433	14,838	千円
b 人件費	16,467	16,400	16,754	16,803	千円
正規職員	1.9	1.9	1.9	1.9	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	448	448	469	685	千円
総経費（a ＋ b）	27,291	30,255	30,187	31,641	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第63回児童ソフトボール大会 10チーム - 第35回児童ミニバスケットボール大会 25チーム - 第62回成人ソフトボール大会 22チーム - 第62回成人バレーボール大会 25チーム ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約500人 ・よすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 5,618人 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 10校 指導者向け講習会 1回 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 10,095枚 ・スポーツ能力測定会 160人	・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第1回秋山翔吾カップ(第64回児童ソフトボール大会) 10チーム - 第36回児童ミニバスケットボール大会 22チーム - 第63回成人ソフトボール大会 19チーム - 第63回成人バレーボール大会 28チーム ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約400人 ・よすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 5,230人 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 15校 指導者向け講習会 1回 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 12, 055枚 ・スポーツ能力測定会 161人	・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第2回秋山翔吾カップ(第65回児童ソフトボール大会) 10チーム - 第37回児童ミニバスケットボール大会 22チーム - 第64回成人ソフトボール大会 雨天中止 - 第64回成人バレーボール大会 28チーム ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約830人 ・よすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 約11,300人 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 26校 指導者向け講習会 1回 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 10,520枚 ・スポーツ能力測定会 161人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	成人ソフトボール大会の雨天中止に伴う事業費の減。
今後の事業 の方向性	スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の健康増進という目的のほかに、スポーツの裾野拡大や競技力向上、ニュースポーツの普及や異種目交流という側面もあり、維持継続すべきと考える。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	61	項目番号	4(1)～(4)、(6)、(7)
事務事業名	社会体育団体等補助金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

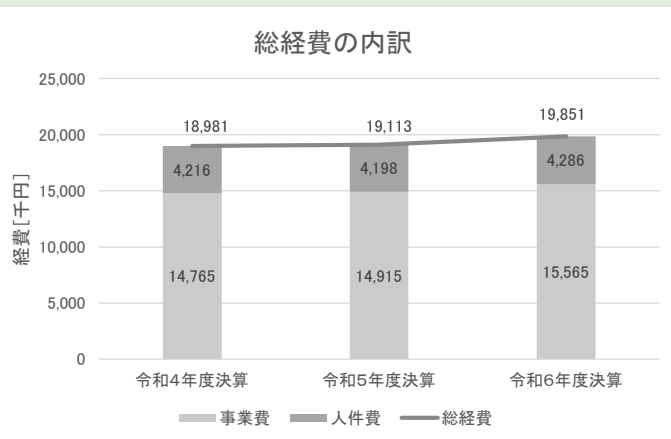
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	スポーツ基本法第34条							
事業目的	体育・スポーツ団体の育成、競技力向上、地域生涯スポーツ振興を補助し、市内の体育・スポーツの普及振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	社会体育団体等が実施する事業を助成するため以下の補助金を交付する。 (1)横須賀市スポーツ協会補助金 (2)横須賀市レクリエーション協会補助金 (3)横須賀市スポーツ少年団補助金 (4)学区体育振興会補助金							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	14,765	14,915	15,565	15,590	千円
b 人件費	4,216	4,198	4,286	4,242	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	18,981	19,113	19,851	19,832	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,360,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(27団)へ補助金を交付した。(405,000円) 学区体育振興会(40学区)へ補助金を交付した。(6,600,000円)		横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,360,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(26団)へ補助金を交付した。(390,000円) 学区体育振興会(41学区)へ補助金を交付した。(6,765,000円)	横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(25団)へ補助金を交付した。(375,000円) 学区体育振興会(42学区)へ補助金を交付した。(6,930,000円)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和5年度において、横須賀市スポーツ少年団が1団減少(△15,000円)、学区体育振興会の補助金申請件数が1件増加(165,000円)。 令和6年度において、(一財)シティサポートよこすかからの寄附に基づくスポーツ協会への補助金増(500,000円)、横須賀市スポーツ少年団が1団減少(△15,000円)、学区体育振興会の補助金申請件数が1件増加(165,000円)。		
今後の事業の方向性	市と連携して本市のスポーツ振興等に取り組んでいるため、事業は維持継続し、引き続き各団体の活発な活動を後押しする。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	6(1)
事務事業名	スポーツ基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

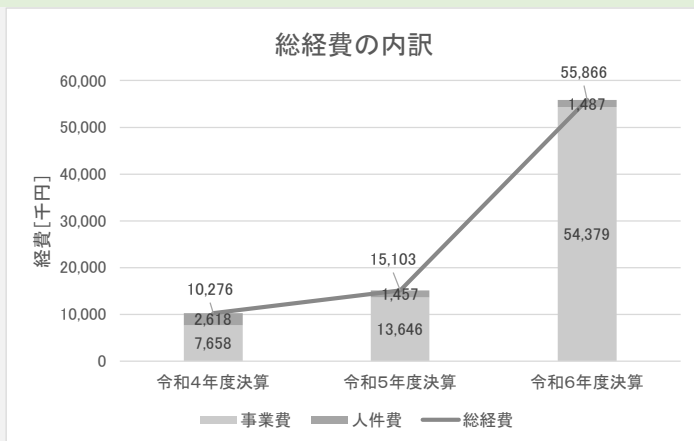
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	基金条例						
事業目的	施設の整備(体育会館運営事務費)やスポーツに参加する人への支援(国県体育大会等選手派遣事業)などにスポーツ基金を充当し、市民スポーツの振興に資する。					分野別計画	
具体的な事業内容	当年度中の「ふるさと納税」等による指定寄附と運用利子で得た収入を積み立てる。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,658	13,646	54,379	54,379	千円
b 人件費	2,618	1,457	1,487	1,443	千円
正規職員	0.3	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	89	89	89	89	千円
総経費（a + b）	10,276	15,103	55,866	55,822	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
ふるさと納税による指定寄附 7,658,000円 運用利子 77円	ふるさと納税による指定寄附 13,645,000円 運用利子 1,015円	ふるさと納税による指定寄附 52,934,268円 団体からの指定寄附 1,433,201円 運用利子 12,317円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	ふるさと納税の寄附額によって、その年々の総経費に増減が生じる。
今後の事業の方向性	積極的な財源確保のため、引き続き継続していく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63.64	項目番号	7.8
事務事業名	スポーツ選手応援事業(スポーツで夢をかなえる基金積立金)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

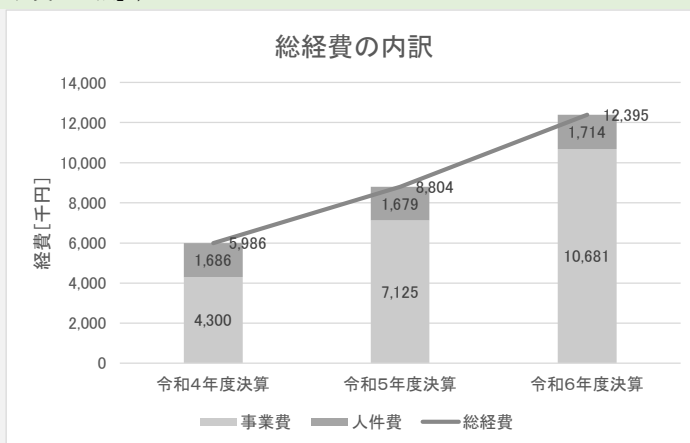
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内トップアスリートの育成等を目的とし、企業や個人からの寄附金も活用しながら、選手の活動を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	対象の選手は、市内在住・在勤・在学中、オリンピック・パラリンピック強化指定選手、各競技団体(オリンピック・パラリンピック・デフリンピック)の強化指定選手、JOCエリートアカデミー選手のいずれかに該当する者。寄附者が選手を指定して寄附した場合は、その選手に全額を交付し、指定がない場合は対象選手に均等分配する。 また、スポーツで夢をかなえる基金は、本事業の財源の一部として積み立て、対象選手がいる場合に繰り入れ、本事業に充当する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,300	7,125	10,681	11,018	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	5,986	8,804	12,395	12,715	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
	企業版ふるさと納税で市外企業1社、指定寄附で市内企業1社、個人3名から合計3,300千円の寄附があり、対象選手6名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金1,000千円の合計4,300千円を分配し、奨励金を交付した。	企業版ふるさと納税で市外企業1社、指定寄附で市内企業・団体9社、個人80名から合計6,105千円の寄附があり、対象選手6名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金1,000千円と一般財源からの端数不足分の補填20千円の合計7,125千円を分配し、奨励金を交付した。	企業版ふるさと納税で市外企業5社、指定寄附で市内企業・団体8社、個人31名から合計9,615千円の寄附があり、対象選手7名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金1,000千円と一般財源からの端数不足分の補填50千円の合計10,665千円を分配し、奨励金を交付した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	前年度と比較して、寄附件数は90件から44件と半減したが、寄附金額は約1.6倍と増加した。要因として、企業版ふるさと納税を活用した高額寄附及び市内企業・団体・個人ともに1件あたりの寄附額の増加が挙げられる。年々制度が浸透し、支援拡大に繋がってきていると推察される。寄附が増えたことから事業費が増となり、結果、総経費も増となった。		
今後の事業 の方向性	奨励金をより多くの本市ゆかりの選手に届け、競技活動を支援するため維持継続していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	9(1)ほか
事務事業名	スポーツ表彰事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
									所管部課名	スポーツ振興課		

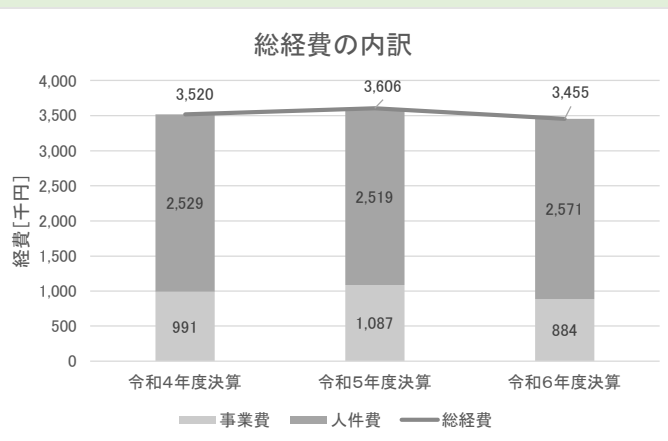
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第20条						
事業目的	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方の表彰並びに本県の代表として全国、世界大会へ出場した選手を表彰することにより体育行政全体の活力を呼びおこし、かつ選手の技術向上を目指す意識を高める。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育功労者に対しては、本市体育振興に功績のあった者に対して、また、スポーツ栄光章に対しては、本県の代表選手として全国大会等に出場し、顕著な成績を挙げた者に対して、毎年度末の2月に被表彰者を一堂に会し表彰状及び、功労者には楯と徽章、栄光章にはメダルを授与し、その功績を称えている。また、オリンピック等において顕著な成績を収めた個人または団体に横須賀市スポーツ大賞・特別賞の表彰を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	991	1,087	884	1,070	千円
b 人件費	2,529	2,519	2,571	2,545	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,520	3,606	3,455	3,615	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人7名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人45人、団体9チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞を贈った。(個人2人)	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人9名、団体2チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人49人、団体8チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞(個人3人)、スポーツ特別賞(個人1名)を贈った。	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人9名、団体2チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人71人、団体7チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞(個人1人)を贈った。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4、5年度は表彰式が概ねコロナ禍前の形での開催となったことや、アトラクションにかかる委託を行ったことなどから前年度比増となった。令和6年度はスポーツ大賞受賞者が減少したことから、トロフィーや副賞の経費が下がったことにより前年度比減となった。	
今後の事業の方向性	長年の体育功労者や優秀な成績を収めた選手の功績を称する機会であるため今後も継続する。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	9	目	3	説明資料	65	項目番号	1
事務事業名	体育会館管理委託費										所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課			

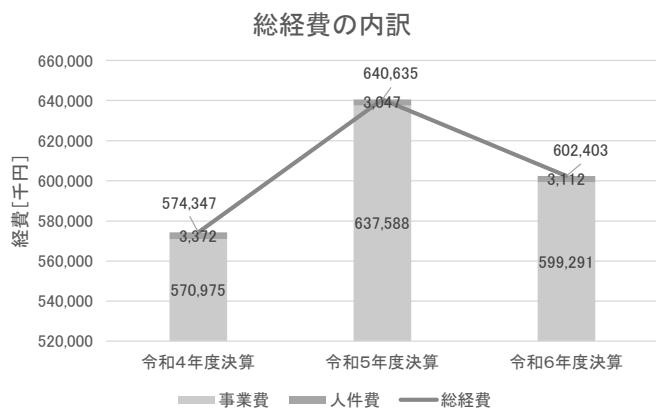
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等社会振興の場の提供や市民の健康増進のため、体育会館施設の運営維持管理業務を委託する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育会館施設の第4期(平成30年4月1日～令和4年3月31日)指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ管理運営を委託し、管理にかかる委託金等を支出する。						
	体育会館施設: 総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	570,975	637,588	599,291	606,659	千円
b 人件費	3,372	3,047	3,112	3,050	千円
正規職員	0.4	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	574,347	640,635	602,403	609,709	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
	指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額570,975千円を支出した。 体育会館施設使用人員:615,688人	指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額637,588千円を支出した。 体育会館施設使用人員:700,461人	指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額599,291千円を支出した。 体育会館施設使用人員:731,395人
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年10月から南体育会館は工事のため休館していたが、令和6年7月から利用が再開し施設の使用人員は増加した。総経費としては、令和5年度は光熱費等の補助金として、40,380千円の支出があったが、令和6年度は7,988千円の支出であり、支出額の主な減少要因である。		
今後の事業 の方向性	今後も指定管理施設として指定管理者に委託し運営する。運営にあたっては、利用料金収入の増を目標としながら、市民のスポーツや運動をする場を提供する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	9	目	3	説明資料	66	項目番号	2
事務事業名	体育会館営繕工事費										所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課			

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	施設の維持管理に係る業務							
根拠法令								
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	体育会館施設の改修工事を行う。 体育会館施設：総合体育会館（メインアリーナ、サブアリーナ）、北体育会館、南体育会館（くりはま花の国プール含）、西体育会館（佐島の丘温水プール含）							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	510,225	302,630	252,898	382,452	千円
b 人件費	3,372	1,896	1,938	1,859	千円
正規職員	0.4	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.2	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	513,597	304,526	254,836	384,311	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・総合体育会館メインアリーナ附属棟屋上防水改修工事 ・くりはま花の国プール非常用発電機改修工事 ・北体育会館プール空調ダクト設備改修工事（継続費） ・西体育会館競技場天井改修その他工事	・南体育会館特定天井改修その他工事 ・総合体育会館サブアリーナレストラン空調設備改修工事 ・南体育会館非常用発電機改修工事	・南体育会館空調設備工事 ・サブアリーナ熱源設備 ・メインアリーナ照明主操作盤 ・北体育会館照明主操作盤 ・北体育会館プール天井灯更新

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	工事内容や単価、件数により、総経費は年度毎に増減が生じる。
今後の事業の方向性	施設管理において、安全性や利便性の向上のため、設備の改修工事は必須である。引き続き、優先度を踏まえ、予算計上していく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	68	項目番号	3(1)
事務事業名	体育会館運営事務費									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	修繕、スポーツ用具等備品の購入、公共施設予約システムの通信機器の使用など、体育会館施設の運営にかかる事務費を計上し執行する。 体育会館施設：総合体育会館（メインアリーナ、サブアリーナ）、北体育会館、南体育会館（くりはま花の国プール含）、西体育会館（佐島の丘温水プール含）						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	25,907	31,981	30,922	31,057	千円
b 人件費	3,372	3,792	3,876	3,719	千円
正規職員	0.4	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.4	0.4	0.4	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	29,279	35,773	34,798	34,776	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
修繕料 17,733千円 公共予約システム関連経費 782千円 体育器具購入費 7,347千円 事務費 45千円	修繕料 19,412千円 公共予約システム関連経費 779千円 体育器具購入費 11,386千円 事務費 404千円	修繕料 10,229千円 公共予約システム関連経費 779千円 体育器具購入費 19,521千円 事務費 393千円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	修繕内容や購入した備品の単価や件数により、総経費は年度毎に増減が生じる。
今後の事業の方向性	施設運営において、安全性や利便性の向上のため、設備等の修繕や備品の購入は必須である。引き続き、緊急性や優先度を鑑み、予算計上していく。